

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

畜産

業務紹介

◆ 概要

牛や豚など家畜の生産環境の整備、生産技術や環境、経営、流通などの指導助言のほか、飼養管理技術、飼料作物の栽培・調製などの試験研究も行います。

◆ 勤務先

本庁各課（畜産課など）

地方機関（地方振興事務所、農業改良普及センター、家畜保健衛生所、畜産試験場など）

XVI 宮城県畜産関係行政機関一覧



自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県名取市
- ◆ 入庁までの経歴 : R2.3 東北大学大学院卒業
R2.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁5年目）

R2.4～

大河原地方振興事務所農業振興部兼 大河原農業改良普及センター 先進技術第一班

仙南地域の畜産の振興など

畜産の仕事はもちろんだが、たまねぎの生産振興や稲の生育調査等、様々な農畜産物に関わる仕事です。

R5.4～

畜産課生産振興班

養豚振興、採卵養鶏振興、仙台牛銘柄推進など

牛、豚、鶏、蜜蜂等、様々な畜種について生産振興を行う仕事です。



志望動機

◆ なぜ公務員？

- ・仙台牛やしもふりレッドを食べ、おいしさに感動したことから、宮城県の畜産に関わる仕事がしたかったため。
- ・研究で扱った統計遺伝育種学を活かす職業に就きたかったため。

◆ なぜ宮城県庁？

- ・宮城県が誇る畜産物の生産振興に尽力したかったため。
- ・しもふりレッドがおいしかったため。



これまでに担当した業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

- 若手和牛繁殖農家の指導
 - ・研修会の開催
 - ・飼養管理の指導
- 経営指導
 - ・簿記記帳指導
 - ・インボイス制度に関する勉強会の開催
- 耕畜連携の推進
 - ・稲WCSや飼料用稲の栽培技術指導
 - ・実態調査
- 牛群検定の指導
 - ・牛群検定結果を用いた飼養管理の指導
- 飼料用作物の栽培指導
 - ・牧草地における土壌分析値を用いた栽培指導
 - ・飼料用とうもろこし展示ほの調査
 - ・害虫の調査



草地更新をお考えの方は普及センターへご相談ください

○このような牧草地はありませんか？



これらの写真のような状態が多く見られる場合は、草地更新を行うことで牧草の収量や質を向上させることができると考えられます。

○更新の方法

更新は以下の手順で行います。



図1-7 草地更新の代表的な施工手順
(牧草・飼料作物栽培の手引き (H30改訂) 宮城県農政部畜産課)

草地更新の方法は完全更新と簡易更新の2種類があり、低収化の要因別に草生回復の手段を講じます。草地全体で裸地が目立つ、雑草が繁茂している等が見られる場合は完全更新を必要としますが、裸地化等が一部の場合は簡易更新が可能です。ただし、更新については、作業量や経費の増加などの留意点についても考慮する必要があります。

○草地更新に関する技術情報



施肥のための土壌分析の方法等掲載しています。
(大石原農業改良普及センターホームページ)



これまでに担当した業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイ。

印象に残っている業務

◆ 飼料用トウモロコシの展示ほの調査

自給飼料の増産を図るため、飼料用作物の実証展示ほを設置。調査をしながら適期作業について指導を行う。

◆ たまねぎ機械化一貫体系の推進

普及センター内では、複数名でプロジェクト課題について取り組むこととなります。大河原農業改良普及センターのHPから、プロジェクト課題の一環で取り組んだ動画が視聴できます。



現在の担当業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイ。

○養豚の振興

- ・ 銘柄豚（宮城野豚やしもふりレッド）の振興
- ・ 系統豚（ミヤギノL2及びしもふりレッド）の方針の検討

○採卵養鶏の振興

- ・ ふ化場申請

（○養蜂の振興）

- ・ 配置調整委員会
- ・ 飼育届・転飼申請

○仙台牛銘柄推進

- ・ 牛政宗くん
- ・ 仙台牛コン（仙台牛婚活イベント）

○多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業

- ・ 採卵養鶏・養豚農家へICT等機器導入の補助
- ・ 県産卵・豚肉やそれらを用いた加工品の消費促進活動



現在の担当業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

印象に残っている業務

◆ ICT機器導入のための支援

生産性の向上や省力化を目的として、養豚農家や採卵養鶏農家がICT機器を導入することに対して支援しました。



◆ 仙台牛の消費者へのPRイベント

若年層への仙台牛の普及を図るため、「仙台牛コン」を開催。初めて仙台牛を食べた方も多数！



入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- ・真面目で融通が利かない人が多いだろうな…
- ・書類仕事ばかりなんだろうな…
(配属先が決まってから)
- ・普及指導と言われるが、指導できる自信がない…

◆ 入庁してみたら…

- ・親しみやすく、話しやすい方が多い。明るい職場。
- ・とにかくたくさん現場にでていた。
- ・研修体制がしっかりしているため、技術の知識がしっかり身につき、また、相談できる先輩がたくさんいるため、指導面で常に不安ということはなかった。



入庁前のイメージとのギャップ

◆ 充実した研修（初任地が普及センターの場合）

○ 先進農家研修

- ・ 地域の先進農家において一ヶ月従事（私の場合は酪農家）
- ・ 基本的な飼養管理について学ぶ



○ 試験場研修

- ・ 宮城県畜産試験場において一ヶ月半の間、研修
- ・ 専門的な技術・知識の習得のほか、宮城県における試験研究の理解や現場で困ったときに誰（どの職員）に聞けば解決できそうかわかるようになる

その他、経営基礎研修や六次化研修、植物防疫研修等、畜産ではないが、普及指導において必要な知識を習得するための研修がたくさんある。



仕事をする上で心がけていること

◆ 明るくあいさつ

明るくあいさつされたほうがうれしいですね。

◆ 情報の連絡共有が大切。悪いことほど早く上司に報告する。

普及センター配属初日に教えられました。

◆ 常に勉強。勉強したものは必ず仕事に活きる。

インターンシップに行った際にとっても印象に残った言葉です。



仕事のやりがい

◆ 宮城県の畜産物の良いところを知ってもらうことができる

仙台牛のPR活動や豚と卵の販売会を通じて、宮城県の魅力ある畜産物を多くの消費者のみなさまに知っていただくことが喜びです。

◆ 畜産に対して熱い思いを持った方と一緒に仕事ができる

特に和牛に関しては、みなさま熱い思いを持っております。



職場の雰囲気

◆ 明るく楽しい雰囲気

笑いが絶えない職場だと感じております。

◆ 尊敬できる先輩・同僚がたくさん

あのような先輩になりたい！と常に頑張っております。



宮城県職員の魅力

◆ 宮城県の良いところをたくさん知ることができる！

初任地は普及センターにいたため、仙南地域の豊かな自然を知ることができ、特産物や知らなかった観光場所もたくさん教えてもらいました。

◆ 様々なことにチャレンジできる環境

ルーチンワークももちろんありますが、自らの発想を業務に活かすことができます。



私の公務員試験対策

- 畜産の問題は国家公務員（畜産系技術職員）の過去問を参考に勉強しました。
- 面接の練習はあまりできなかったのですが、民間企業も受けていたため、それが練習になりました。
- 面接の回答案をつくって臨みました。畜産職の仕事をきちんと把握したうえで何をしたいか聞かれたと思います。
- 教養試験は一般に売られている問題集で勉強しました。
- 同じ大学の同期が同じ畜産職を受験していたため、お互いに情報交換をしながら頑張った思い出があります。



先輩職員からのメッセージ

- ◆ 畜産職は宮城県の畜産物の生産を支える重要な仕事です。

大変な仕事も多いですが、たくさんのことを学び、成長することができます。

- ◆ 宮城県の良いところをたくさん知ってください！

せっかく宮城県に興味をもっていたいたので、まずは宮城県の良いところをたくさん知って、好きになってください。おいしい食べ物もたくさんありますし、隠れた名所もたくさんあります。

